

林業福島

No. **618**

題字 公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
会長 齋藤卓夫



ふくしまからはじめよう。

Future From Fukushima.

2

2016

監修 ■ 福島県農林水産部
表紙の写真 ■ 炭の窯出し



ふるさとの復興に向けて

福島県市長会長
相馬市長 立 谷 秀 清

『林業福島』をご覧の皆さまにおかれましては、県内それぞれの自治体の行政運営にご理解とご協力を賜っておりますことに、県市長会を代表して御礼を申し上げます。

私たちのふるさと福島県は、県土の約七割が森林であります。その豊かな森林は、四季折々の美しい景観を織り成し、山から川、そして海へとつながり、豊かな恵みの源となっています。私たち県民一人ひとりの心の原風景には、県内各地の美しい山々が存在するものと思います。この豊かで美しいふるさとを守るためにご尽力いただいている皆様に、心から敬意を表しますとともに、深く感謝申し上げます。

さて、我が国の森林は、国土保全や水源かん養など様々な公益的機能を有し、国民はその恵みを受受しております。そして昨今では、世界的な地球温暖化防止への動きに合わせ、改めて森林の重要性が再認識され、環境資源保全に対するさらなる気運の高まりを感じているところであります。

我が国の林業は、戦後の拡大造林政策によって進められた人工林を中心に、本格的な利用期を迎えております。しかしながら、施業集約化や路網整備・機械化の立ち後れによる採算性の低下、脆弱な木材供給体制による生産活動の停滞など厳しい経営状況におかれています。

さらに、福島県の森林林業においては、東京電力福島第一原発事故によって発生した放射性物質への対策という、これまでにない大きな課題にも挑んでいます。最近では県産木材の生産量が復興需要等の影響で震災前の水準に回復したという嬉しいニュースもありましたが、一方では、国から森林除染を限定的に行うという方針が出されました。森林の放射性物質対策に関する課題の多くが解決されず、林業関係者の皆さまの不安も解消できていないのが現状であります。

県市長会といたしましては、県だけではなく東北市長会や全国市長会と連携しながら、福島の森林林業の一日も早い復興と再生を目指し、国への積極的な働きかけなど、様々な取り組みを進めてまいります。地方創生に取り組みむ各自自治体においても、この豊かな森林資源を活かし、林業が産業としての基盤を再生・強化されることよって、森林の適切な維持管理が次世代に継承され、とりわけ山村地域に産業と雇用を生み出すことを期待しています。

震災発生から間もなく六年目を迎えます。市長会では十三名の市長が、皆で知恵を出し合い、連携を深めながら、ふるさとの復興に向け努力を重ねてまいりますので、これからもご理解とご協力をお願いいたします。

《も く じ》

とびら	林業研究センターだより……………	5～6
ふるさとの復興に向けて	全国植樹祭コーナー……………	7
福島県市長会長	「自然に親しむ」……………	8
相馬市長 立 谷 秀 清……………	普及指導員通信……………	9
トピックス	◆ 林業労働力確保支援センターだより……………	10
「きぼうのプール」贈呈式……………	木連だより……………	11
山火事を防止しよう	木材市況・ふくしま東西南北……………	12
～誓います 森の安全 火の始末～……………	はなしのひろば……………	13
緑の募金コーナー……………		

「きぼうのプール」贈呈式

福島県森林保全課

「きぼうのプール」贈呈式が平成二七年十二月十六日(水)、ふくしま県民の森フォレストパークあだたらのビジターセンターレクチャーホールにて行われました。

「きぼうのプール」とは、北海道と企業等が連携し、道内のイベントにおいて道民の皆さんが東日本大震災の被災地への応援メッセージを書き入れた「きぼう(木棒)」を作成



サンタクロースからバードコールのプレゼント

し、それを木棒で作成したプールに集めた遊具のことで、北海道が被災地へ贈呈を行っている『希望』を「きぼう」でプロジェクト』の取組です。

「きぼう」は、道産のカラマツやトドマツが使用された、直径二センチメートル、長さは七・五〜一〇センチメートルの円筒形の棒です。この「きぼう」には、バーニングペン(焼きペン)で様々な応



みんなで記念撮影

援メッセージが書き込まれています。また、これらの資材は、株式会社JCBより提供され、全国のJCB社員の皆さんも「きぼう」のメッセージ作りに参加されています。

贈呈式は、地元大玉村の大山幼稚園の園児約四〇人も参加して行われ、クリスマスに合わせ、サンタクロースに扮した北海道職員から、園児へバードコール[＊]の記念品も贈られました。贈呈式終了後も子どもたちはしばらく「きぼうのプール」で遊び、子どもたちの歓声と笑顔いっぱい楽しいひとときとなりました。

現在、「きぼうのプール」は、ビジターセンターフロント近くの図書コーナーに常設されています。皆さんも、是非、ふくしま県民の森フォレストパークあだたらへお越しいただき、「きぼう」を手に取り、北海道の木の温もりと、熱いメッセージにふれて、「希望」を感じてみてください。

＊1 バードコール…鳥の音を出す道具のことで、鳥笛とも呼ばれている。木の枝とボルトを使って簡単に作ることで、この木片と金属棒をこすり合わせて出す音が小鳥の鳴き声に似ている、この音で鳥が集まってくるのを楽しむ。



きぼうのプールで遊ぶ子どもたち



きぼうのメッセージ

山火事を防止しよう

誓います 森の安全 火の始末

福島県森林保全課

○山火事の発生状況

毎年、福島県では山火事が多く発生しております。特に冬から春先にかけては、雨が少なく空気が乾燥していることに加え季節風も強いことから、火災発生の危険が高まる時期となります。また、暖かくなる春は登山やハイキングなどで山に入る人や機会が増えるほか、農作業を始める時期とも重なり田畑や自宅の周辺などで火を使ったことにより発生したとされる山火事が多発します。

○山火事の発生原因

全国で平成二六年に発生した山火事（林野火災）は一、四九四件であり、その原因で最も多いのは「たき火」で四四三件、次に「火入れ」二四九件となっております。当県においても四三件の山火事が発生しております。^{※1}

このことは、多くの山火事の発生が人為的活動によるものであることを意味しており、県民の皆さんがその発生に注意をすれば多くの山火事を防ぐことができます。

○山火事を発生させた場合の責任

森林法において、他人の森林に放火をした者に対して、有期懲役の罰則規定があることに加え、失火による森林の延焼に対しても罰則規定があり、失火させてしまった方も責任に問われることがあります。

このことから、山火事を発生させてしまうことは大変重大なことでありますので、山火事を発生させないよう皆さんで心がけましょう。

○山火事を発生させないために

山火事はひとたび発生すると、地形や水利条件など消火活動が困難で被害が拡大する恐れがあるため、日

頃より山火事を発生させないことがとても重要となります。

そのためにも私たち一人一人が次のことに注意をして、山火事予防に取り組みましょう。

- ① 枯れ草がある等火災が起こりやすい場所では、たき火をしないこと。
- ② 強風時及び乾燥時には、たき火、火入れをしないこと。
- ③ やむを得ずたき火等火を使用する場合は、火気のそばを離れず、使用後は完全に消火すること。
- ④ 火入れを行う際、市町村長の許可を必ず受けるとともに、十分な実施体制をとること。
- ⑤ たばこは、指定された場所で喫煙し、吸い殻は必ず消すとともに、投げ捨てをしないこと。
- ⑥ 火遊びはしないこと。

○おわりに

山火事が発生してしまうと私たちの暮らしに欠かせない水源かん養や県土の保全など森林の持つ公益的な働きを失ってしまうことになり、燃えてしまった森林をもとの姿に戻すためには、多くの人力と長い時間を要します。

ふくしまの豊かな森林から山火事を発生させないよう県民の皆さんの御協力をお願いします。

※1 平成二七年版消防白書より

森林保険

山火事などの災害に備え、森林保険に加入しましょう。

くわしくは、最寄りの森林組合、または森林組合連合会へ御相談ください。



平成28年度の緑の募金目標額 **7,000万円**

緑の募金のご協力よろしくお願いたします

緑の募金のお願い (公社)福島県森林・林業・緑化協会

平成27年度は、下表のように約6,013万円（4月～12月分集計）のご寄附をいただきました。多くの県民の皆さまに厚く御礼申し上げます。

皆さんからご協力いただきました「緑の募金」は、緑の少年団の活動支援や緑化苗木の配付による環境整備、地方植樹祭・育樹祭や第13回うつくしま育樹祭の開催、学校緑化活動の支援（86校に助成）など、「震災からの復興」や「緑あふれる県土づくり」に活用させていただきました。

平成28年度の「緑の募金」は、新年度がはじまる4月1日から5月31日が春季募金期間となっておりますので、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。



平成28年の緑化運動標語

「夢託す 小さな苗に 大きな未来」

〒960-8043

福島市中町5-18 福島県林業会館内

(公社)福島県森林・林業・緑化協会

(緑化推進局)

TEL 024-524-1480 FAX 024-521-3246

平成27年度 緑の募金実績 (平成27年4月～12月)

単位：円

市・地方緑化推進委員会	募金目標額	募金実績額	達成率 (%)	募金の種類				
				街頭募金	家庭募金	企業募金	職場募金	学校募金
福島市緑化推進委員会	9,300,000	4,164,936	44.8	119,574	0	1,833,141	747,164	1,465,057
伊達市緑化推進委員会	2,300,000	2,633,734	114.5	28,546	1,971,440	266,195	287,418	80,135
伊達郡緑化推進委員会	1,400,000	1,532,319	109.5	54,925	1,066,900	217,000	163,584	29,910
二本松市緑化推進委員会	2,100,000	0	0.0	0	0	0	0	0
本宮地域緑化推進委員会	1,300,000	1,573,754	121.1	124	923,790	438,696	123,284	87,860
国土緑化郡山市推進委員会	11,100,000	10,621,858	95.7	10,871	6,822,750	660,312	854,382	2,273,543
須賀川市緑化推進委員会	2,600,000	1,434,412	55.2	33,793	562	737,635	347,800	314,622
国土緑化岩瀬地方推進委員会	600,000	592,026	98.7	1,000	467,200	100	74,716	49,010
田村地方緑化推進委員会	2,600,000	3,440,822	132.3	46,347	2,361,300	405,646	573,891	53,638
国土緑化石川地方推進委員会	1,800,000	1,991,488	110.6	13,147	1,115,486	320,174	217,896	324,785
白河市緑化推進委員会	2,200,000	1,990,064	90.5	0	1,248,050	535,253	153,261	53,500
国土緑化西白河地方推進委員会	1,600,000	1,974,635	123.4	5,506	1,336,188	407,795	180,746	44,400
国土緑化東白川地方推進委員会	1,500,000	1,391,866	92.8	62,134	912,630	151,381	220,942	44,779
国土緑化会津若松市推進委員会	4,500,000	5,637,475	125.3	56,103	3,604,680	620,000	754,766	601,926
両沼地方緑化推進委員会	2,000,000	1,831,065	91.6	237	1,527,415	104,000	199,413	0
会津耶麻地方緑化推進委員会	1,200,000	1,363,972	113.7	871	1,004,400	80,000	136,798	141,903
喜多方市緑化推進委員会	2,000,000	2,420,058	121.0	49,582	1,614,500	302,000	453,976	0
南会津地方緑化推進委員会	1,400,000	1,768,766	126.3	62,484	1,414,061	69,000	200,261	22,960
相馬地方緑化推進委員会	4,400,000	385,260	8.8	0	0	0	385,260	0
双葉地方緑化推進委員会	2,600,000	0	0.0	0	0	0	0	0
いわき市緑化推進委員会	11,500,000	12,185,136	106.0	77,036	8,685,310	1,262,148	1,613,804	546,838
小計	70,000,000	58,933,646	84.2	622,280	36,076,662	8,410,476	7,689,362	6,134,866
事務局	-	1,196,093	-	92,815	0	585,281	517,997	0
合計	70,000,000	60,129,739	85.9	715,095	36,076,662	8,995,757	8,207,359	6,134,866

※街頭募金、イベント募金、常設募金等を含む。

林業研究センターだより

「特定母樹と次代検定」



林業研究センターに造成された「特定母樹 ミニチュア採種園」

福島県林業研究センター

森林環境部 主任研究員 川上 鉄也

1 はじめに

福島県林業研究センターでは、スギ、ヒノキ、クロマツ等の林業種苗の種子生産を行っています。スギでは、現在、精英樹第一世代を用いた採種園から種子を生産し、県内のスギ造林に必要な量の、ほぼ一〇〇％を育種種子で供給しています。

また、スギ種苗を巡る新しい動きとして、「特定母樹」の原種苗の配布が始まり、本県でも、省力的に作業ができ、管理が比較的容易で、種子が採れるまでの期間が比較的短くて済むミニチュア方式での採種園造成が始まっています。

京都議定書の第一約束期間（平成

二〇〇二～二〇一四年）でのCO₂削減目標のうち、森林吸収源の目標達成のために「森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法（以下「間伐等特措法」）（平成二〇・五・十六施行）が制定され、一部改正（平成二五・五・三〇施行）された中で、「特定母樹の増殖」が規定されました。特定母樹は農林水産大臣が指定し、平成二五～三二年度の八年間で、特定母樹による種穂の採種源を全国に整備することが目標に掲げられています。

2. 「特定母樹」とは

スギ種苗に関連した五つの名称を、耳にする機会が増えてきましたので、ここで一度整理してみます。

- ① 特定母樹：「改正・間伐等特措法」に基づいて、特に優良な種苗を生産するための種穂の採取に適する樹木であつて、成長に係る特性の特に優れたもの。農林水産大臣が指定する。
- ② 精英樹（第一世代精英樹）：昭和三二年度からの精英樹選抜育種事業で、全国の一般スギ林から、周囲のスギに比べて抜きんでた成長を示すものを選抜して、精英樹とし、次代検定を経て、成長が優れたものと評価されたスギ。精英樹特性表がまとめられている（県内からは当時七〇本が選抜された。全国では約三、五〇〇本選抜）。
- ③ 少花粉スギ：精英樹（第一世代精英樹）の中で、次代検定（連年目視調査）により、花粉の飛散が特に少ないと評価されたスギ。精英樹（第一世代精英樹）。
- ④ 無花粉スギ：遺伝で花粉がまったく飛散しないスギ。平成四年に富山県で最初に発見された。現在十一本発見され、福島県からも三本発見されている。現在三種類の登録品種がある。精英樹との人工交配により、諸形質の改良が進行している。
- ⑤ エリートツリー（第二世代精英樹）：精英樹（第一世代精英樹）

表-1 特定母樹の指定状況 (H26. 3月31日現在)

樹種	種類	指定本数	指定番号等
グイマツ	精英樹 (クリーンラーチ)	1	特定25-1
スギ	第2世代精英樹 (エリートツリー)	47	特定25-2~39 特定25-45~53
スギ	精英樹 (少花粉品種)	5	特定25-40~44
計		53	

(森林遺伝育種 第3巻 (2014) pp79より引用)

の中で、特に成長に優れたもの同士を人工交配し、その中でも特に成長の優れたスギ。国立研究開発法人森林総合研究所林木育種センターが開発。

特定母樹は、都道府県等が開発した候補木や、エリートツリーから公募がなされ、指定基準に合致するか審査が行われて指定されます。現在の指定状況は、表-1のとおりです。なお、表中のクリーンラーチ（グ

表－2 特定母樹の指定基準、エリートツリーの選抜基準

項目	特定母樹の指定基準	エリートツリーの選抜基準
成長量	在来系統の単木材積の概ね1.5倍	選抜した林分において材積が5段階評価で4以上
剛性等	環境及び林齢が候補木等と同様の林分の個体の平均値よりも優れている。	著しい欠点がないこと
幹の通直性	曲がりがないか、若しくは曲がりがあっても採材に支障がない。	著しい欠点がないこと
雄花着花性	一般的なスギの半分以下	一般的なスギ以下

（森林遺伝育種 第3巻（2014）pp78より引用）

イマツ×カラマツ）は北海道が独自開発したものです。特定母樹の指定基準と、エリートツリーの選抜基準は表1・2のとおりです。特定母樹は、成長量が「在来系統の単木材積の概ね1・5倍」で、CO₂も1・5倍固定します。特性は農林水産大臣のお墨付きです。樹木の樹幹部は五〇割が炭素です。増大は炭素固定量の増大につながります。

また、特定母樹の指定候補となつ

ているエリートツリーは、植栽五年目で樹高七メートルとなる初期成長ぶりです。下刈り不要の造林が可能か検討されており、国立研究開発法人森林総合研究所林木育種センター、福島森林管理署、福島県農林種苗農業協同組合との共同により、平成二七年六月に「初期成長優良品種の性能試験地」が設定されました（画1・3）。海外では、マツ属の選抜が二〜四世代目に入っています。林業においても、大規模経営では、下刈り等育林コストの低減に有効な育種種子への認識は、「優良種子は高くつかない。儲かる。」との認識が定着しているそうです。

特定母樹は、ポツと出て来たものではありません。良いスギの種苗を求めて、戦後、丸裸になった山に残ったスギ林から、精英樹（候補木）を選抜し、苗畑で育苗し、台木とし、次代検定の結果、成長に優れたものと評価された精英樹同志を人工交配し、その種子を育苗し、また次代検定して初期成長を評価した結果、確定した「特に成長が優れたスギ」です。

3. スギ種苗のこれから

スギ種苗の育種・改良は「次代検定付き集団選抜育種法」を用いています。この「次代検定付き」とい



画－3 エリートツリーの性能評価試験地設定作業と現地案内板

のがミソです。次代検定林は、全国に約一、九〇〇箇所、二、六〇〇鈴ほどあります。

無花粉スギは一对の主働遺伝子が関与するので質的形質ですが、成長量は遺伝率の低い量的形質で、多くの微働遺伝子が関与し、量的遺伝・統計の世界とされています。また、生育環境の影響も受けますので、次代検定し、それを正しく評価します。検定林は、次世代の精英樹を選抜するための育種集団としても活用しています。

その成長量の評価、少花粉の評価、材質の評価は、多くの先達たちが五〇年前から営々と運営してきた自然仕立ての次代検定林での、調査結果がまとまったものです。

県内には、スギ精英樹（第一世代精英樹）の実生による次代検定林もあります。そこには、きつと「お宝」が静かに眠っていることでしょう。

現在、二世代目の特定母樹や、エリートツリーの次代検定林の設定も始まっており、数年後に訪れる特定母樹ミニチュア採種園の、早期稼働に向け取り組んでいます。

全国植樹祭「コーナー」

～ 全国植樹祭への企業等協賛について ～

福島県森林保全課

福島県で平成三〇年に開催する全国植樹祭を多くの方々の心に残る実り多きものとするため、広く県民の皆様や企業等に大会の趣旨を御理解いただき、大会を盛り上げるよう、企業等協賛を募集しています。

協賛いただく資金や物品等については、式典の会場整備や運営、緑の少年団の制服整備など、全てを全国植樹祭及び関連事業に使用させていただきます。

協賛には、全国植樹祭会場や公式ホームページ、記録誌等で協賛者名が掲載されるなど、規模に応じて様々な特典を御用意しています。また、本県独自の特典として、海岸防災林の植樹体験ができます。

なお、協賛募集に当たり、第六九回全国植樹祭福島県実行委員会（会長・内堀知事）と公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会は平成二十七年十二月二四日に協定を締結し、連

携して広報活動等を行うこととしました。

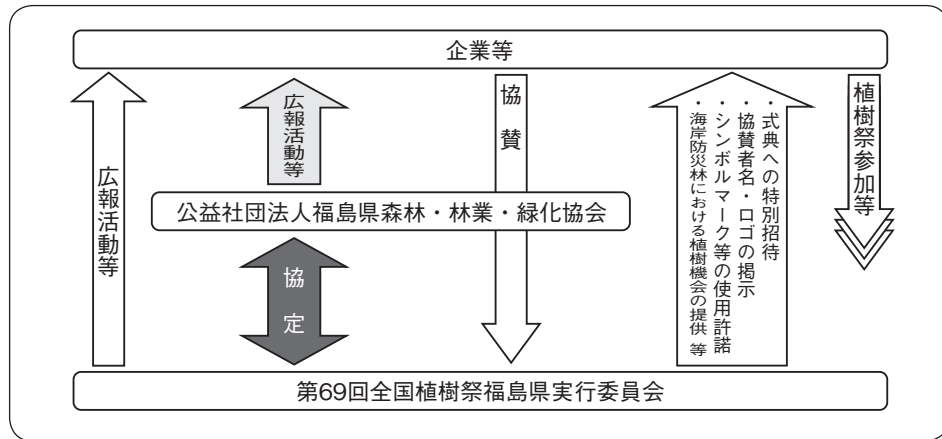
全国植樹祭開催の意義に御理解と御賛同をいただき、温かい御支援と御協力を賜りますよう、よろしくお願いたします。

● 協定締結の様子



内堀知事（右）と
県森林・林業・緑化協会 齊藤会長

● 協賛募集の枠組み



【問い合わせ先】

電話 〇二四一五二一八六二八
(県庁森林保全課)

開催テーマ募集

第69回全国植樹祭を、東日本大震災及び原子力災害で甚大な被害を受けた本県が、緑豊かなふるさとの再生を進めていく上での大きなシンボルとするため、大会にふさわしく、開催を広くアピールする開催テーマを募集します。

【応募資格】

どなたでもご応募いただけます。

【応募期限】

平成28年2月19日(金)
※当日消印有効

【表彰区分及び副賞】

最優秀賞 1点	副賞 50,000円
優秀賞 3点	副賞 5,000円
入選 5点程度	副賞 3,000円

※児童・生徒の場合は賞金相当額の図書カードとします。
※最優秀賞を受賞された方は、第69回全国植樹祭にご招待する予定です。

【応募先・お問い合わせ先】

第69回全国植樹祭福島県実行委員会事務局
(福島県農林水産部森林保全課内)
住所 〒960-8670 福島市杉妻町2-16
TEL 024-521-8628
FAX 024-521-7947

「自然に親しむ」

福島県の巨樹・名木 | 11 |

白幡しろはたのイチヨウ

樹木医 鈴木俊行



「白幡のイチヨウ」は、相馬郡新地町駒ヶ嶺字白薄地内に生育している。生育地は、国道六号から国道一一三号に入り、約一・〇キロメートル丸森方面に行った道路北側の丘の上で、広い畑の真中に立っていて周辺に遮る物もなく、遠くからでも大きなイチヨウの姿が良く見える。

本樹にまつわる故事として、本樹の生育する新地町は福島県の最北部に位置し宮城県と接している、戦国時代には伊達藩と中村藩の国境地帯になっていて領地争いを繰り返した場所でもあった。一五八六年（天正十四年）、伊達政宗がこのあたりに侵攻し、相馬義胤と激突した。いったん和議を結ぶことになった際、政宗が持っていた鞭を地面に逆さに挿して両国の境と

したところ現在のような大木になったと言い伝えられている。このような伝説から「逆さイチヨウ」とも呼ばれている。

また、幹東側の根元には白幡八幡神社の祠と鳥居があり、イチヨウの巨木とともに地域の人々の信仰の対象となっている。

本樹の樹種は、イチヨウ科イチヨウ属のイチヨウである。イチヨウは一科一属一種であるが、オハツキイチヨウ、シダレイイチヨウなどの変種もある。中国原産の落葉高木で、雌雄異株で本樹は雄株である。

樹齢は、三〇〇年とも五〇〇年ともいわれる巨樹で、平成九年三月二五日に福島県の天然記念物に指定されている。

形状寸法は、樹高二四・五〇メートル、幹周一二・九〇メートル、根元周二二・四

〇メートルの巨樹である。主幹は中央部が落雷により枯損し、焦げた部分があるほか、主幹北側は枯死した部分が目立つ。しかし、根元から多くのひこばえが寄り添うように太く生長伸長し、本樹の太い幹を形成している。

枝張りには、東一一・〇〇メートル、西一一・五〇メートル、



南一一・〇〇メートル、北九・五〇メートルと、均等に大きく枝葉を広げている。樹冠内には、風や雪によって折れた枝の傷口が数箇所あるが、樹形は、まあい楕円形の自然樹形で、枝の数や密度、葉の量などいずれも良好な状態である。

本樹の黄葉は平年十一月下旬から十二月初旬で、最盛期にはイチヨウの巨体さもあいまって、全体が黄金色に染まった様子は迫力があり、圧倒的な存在感と威厳を感じ、まさに巨人的感慨を与えてくれる。さらに、黄葉の散る頃は広い畑一面が金の絨毯を敷きつめたように金色になり、見たことのないような森羅万象の世界が広がる。

県内屈指のイチヨウの巨樹にぜひ会いにいらしてください。できれば黄葉の季節に…。

県中地方における森林環境学習の森整備事業の取組について

■県中農林事務所
林業普及指導員 渡辺 信和

県中農林事務所では、林業体験学習及び自然観察の場として整備し、森林環境学習の普及推進を図るため、平成26年度から郡山市内の県有林等で「森林環境学習の森整備事業」の県有林フィールド整備事業と歩道バリアフリー化事業に取り組んでいますので、その事例を紹介します。

事業の取り組みに当たっては、普及員の地区別研修会として現地検討を行い、普及員全員のフィールド整備に関するレポート提出により意見を集約しました。

舟津県有林では、県民が自然観察など森林林業の学習等に容易に利用できるよう最初に基盤整備が必要との意見が出され、県有林フィールド整備事業により、階段工等歩道の整備を実施しました。

舟津県有林は、郡山市湖南町舟津、猪苗代湖南側の湖岸に位置し、高樹齢のアカマツを主に、スギ・カラマツ林等で構成され、水際には、屏風岩と言われる断崖絶壁の岩がそそり立ち、湖水面に磐梯山とともに、影を映す立体感あふれる雄大な眺望と自然美の名所です。しかし、2011年の東北地方太平洋沖地震で、屏風岩に行く歩道で落石が発生したり、木製階段の腐朽が進み、歩道の通行に支障を来していたことから、本事業に取り組みました。

駐車場から屏風岩へは、標高差約40m弱の急傾斜地を上り下りし、再び同程度を登る歩道となっていましたが、計75段の木製階段工を施工することにより傾斜地の歩行の安全を確保しました。また、平坦地及び緩傾斜地では、踏みつけによる裸地化の拡大や迷い込みを防ぐため、282mの区間で歩道敷幅1.5mの両側に丸太を敷設し導線を確保しました。本事業の整備により、県有林南部から広葉樹林、アカマツと広葉樹の混交林、カラマツ人工林、スギ人工林、屏風岩上部のアカマツと灌木の広葉樹林と多様な森林をより容易に観察できる環境が整いました。

郡山市逢瀬町河内の福島県総合緑化センターでは、普及員と管理者である公益財団法人福島県都市公園・緑化協会 逢瀬公園・緑化センター事務所と打合せを行いながら、歩道バリアフリー化事業により、お年寄りや車椅子の方も森林とのふれあいの場として安全に利用できるよう、湿性植物園バリアフリー歩道（木製チップ舗装）150mと薬用植物園木製チップ舗装211mを施工しました。

福島県総合緑化センターは、郡山市西部に位置し、多くの県民が散策に訪れています。今回の施工により、福島県総合緑化センター西側駐車場から湿性植物園を周遊するコースが、車椅子でも利用可能となり、谷間の広葉樹林と湿地・池が織りなす景観や生態系を、より幅広い方々に親しんでいただくことができるようになりました。

引き続き今年度においては、郡山市湖南町福良の青松ヶ浜県有林及び福島県総合緑化センターで、入林者がより安全に安心して散策できるよう、枯れ枝落下の危険性の高い樹木の伐採などの環境整備を行い、一層のフィールド整備に努め、県民の森林林業に関する関心が高まるよう森林環境学習の場として普及に活用していく考えです。



舟津県有林 屏風岩からの眺め



緑化センター バリアフリー歩道

林業労働力確保支援センターだより

森林整備担い手対策の

取組について

—今年度基金事業実施の概要(1)—



林業新規就業支援事業
林業事業体のOJT研修状況

◎はじめに

福島県林業労働力確保支援センター(以下、「支援センター」)では、林業の持続的かつ健全な発展のため、各種事業を行っています。

ここでは、支援センターが本年度に行った県の補助事業である森林整備担い手対策基金事業の概要を二回(次回三月号)に分けて紹介します。

◎林業新規就業支援事業

新規就業者に対する刈払機・チェーンソーの特別教育等の受講支援を、延べ十二名に行いました。

同じく、林業事業体によるOJT研修の支援を十五名に行っています。

◎林業就業者キャリア形成支援事業

林業就業者の定着を促進するため、キャリア形成に必要な知識等を習得する研修会を、次のとおり開催しました。

① 林業人材育成研修会

十二月三日、郡山市のホテルバーデンで、京都府日吉町森林組合理事で森林再生アドバイザーの湯浅勲氏に「プロの林業人にとってほしいこと」と題して講演をいただきました。

講演は、五つのテーマで、「森林林業



研修会参加者状況

「森林の基礎となる土壌と気象の話」では森林土壌は大別して三種の岩石(火成岩・堆積岩・変成岩)の風化により、粒子の粗さで、粘土・シルト・砂・礫に分けられ、主として水の表面張力で特性が異なること、土壌が地域によって千差万別で



講演する湯浅氏

の現状とその背景」では、減り続ける世界の森林の現状や原因と背景、日本の森林の劣化や人工林の林齢の著しい偏り、間伐されない人工林の行く末としての災害発生への懸念、そしてそれらが手入れによって蘇ることを話されました。

リーダーを目指す人へ

- ①知識と技術と人間力のバランスをとること
- ②知識として知っているだけのこと、自覚したこと、そして実行できること、この3つを混同するな
- ③常に明るく爽やかに、いかなる場合も怒らず怖れず悲しまず正しく勇気ある人を目指せ。そのためには言葉に気をつけよ
- ④人はほめて育てよ(メカニズムが分かれば納得できる)
- ⑤出世しても偉い人になったとは絶対に思わない(偉い人とは、多くの人を幸せにした人のこと)
- ⑥周りの人が認めてくれてこそはじめてリーダーたり得る
楽しみながら頑張ることが大切です

湯浅氏パワーポイントより抜粋

ある理由、気象等の水分条件で適木があること、「間伐の意味と選木方法」では、間伐の意味、要間伐林の見分け方、選木実施時期の注意事項を、また、「林業労働災害の現実と災害撲滅」では、その現状と取組、撲滅への強い思いについて話されました。

最後に「リーダーを目指す人へ」では、上記の項目を話されました。

全体を通して、知っているようでいてきちんと知らないこと、やられているようできちんとやられていないこと、について再認識し、人材育成の心構えを刻んだ研修会でした。

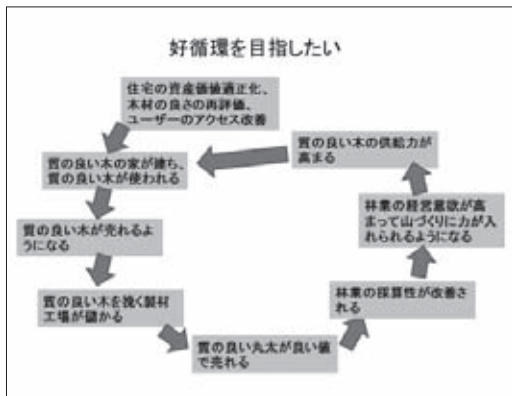
② 森林づくり研修会

平成二八年一月十三日、長野県上田市在住の林材ライター、赤堀楠雄氏に「木の価値を高めるための林業を元気にする」と題して講演をいただきました。



講演する赤堀氏

①林業の「成長産業化」は可



赤堀氏パワーポイントより抜粋

能か」では産業として生産物の価値向上への取組が可能となるようなマーケットがないと実現は望めないこと、②ニーズがあるが低質材のため、造材や仕分けが甘くなりがち、また加工度が高まるほど原材料の質が顧みられなくなり、そのため、低質材が主流になると、選木・造材技術の低下、山林管理の粗放化で良質材供給が困難になること、③FITの導入により未利用材・林地残材、製材・合板端材が稼げる原料になってきていること、④「育林・施業に関する議論がなされていないこと」に警鐘を鳴らすとともに、⑤木の価値を高める手法として選別(苗木の選抜から間伐の選木、造材、製材課程での仕分け加工、製品出荷)の重要性を話されました。⑥「マーケットをどう作るか」の具体的取組として愛媛県久万高原町、栃木県茂木町、熊本県上天草市、速水林業などの事例を話されました。

最後に、将来を担う人材の育成や住宅の資産価値適正化等から、「林業・木材産業の好循環を目指したい」とのことで締めくくりました。

木連だより

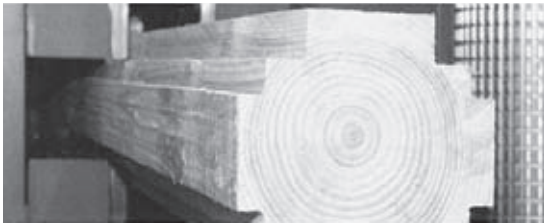
オーストリアに
おける製材工場と
CLT 工場

県内木材業界の有志で、十一月十八〜二十三日の日程で、CLTの先進国であるオーストリアのラミナ製材工場とCLT製造工場等を視察してきました。

1 大型製材工場 of finer 社

概要

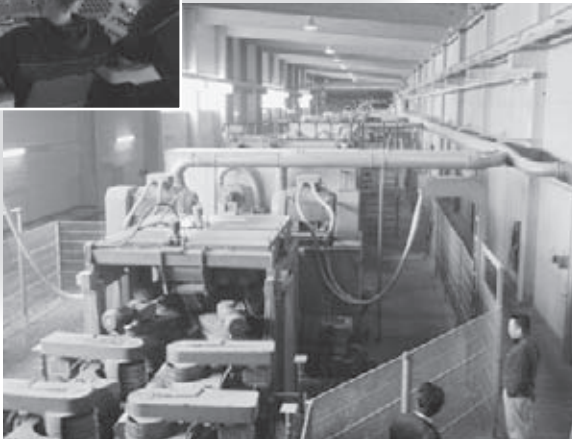
- ・二五〇年の歴史を持ち、二〇〇七年に新改築し、新製材システムプロファイリングラインを導入。
- ・KLH（CLT製造工場）のオーナーの製材工場で製品の多くはKLHで使用するCLTラミナに加工。
- ・工場の面積は約一六畝で従業員は一〇七名。
- ・丸太の集荷
- ・丸太の消費量は一日一二、〇〇〇本約三、〇〇〇立方メートル
- ・集荷地域は工場周辺一五〇キロメートルから消費量の七五割を、残り二五割は隣国スロベニアから。



〈プロファイリングソーで輪郭付けされた材〉



〈制御室〉



〈製材機械〉

・トレーラートラックや貨車運搬により集荷。
・樹種はトウヒが約八〇割で長さ四メートル〜八メートルの丸太が工場に集荷されていた。なお、工場着価格は一二、〇〇〇円／立方メートルと日本とほぼ同様で年間変動はほとんどない。



福島県木材協同組合連合会

(3)

製材（プロファイリングラインア、丸太をレーザ等でスクヤンすることにより最適な木取りを選定。
イ、長さ一五〇以上のラインに一分間一〇〇以上のスピードで板材製品三種類に加工。
・チップキャンターで丸太からチップを生産しながら角材加工。
・プロファイリングソーで輪郭付けすることによって耳スリ工程を省きつつ、二軸の丸鋸（ギヤリングソー）によって一度に複数枚の板を生産。
ウ、製材機械の制御等はコンピュータで専門の社員が常駐。

2 CLT製造工場KLH社

①歴史

- 一九九六年 会社設立
- 一九九九年 CLT製品を市場販売へ
- 二〇〇四年 工場増設
- 二〇一二年 製材工場を統合
- 二〇一四年 新カッターライングマシンの導入

②供給量

CLT製品出荷量年間六二万一、〇〇〇平方メートルうち七五割を輸出し、海外も含め約一、五〇〇の建築プロジェクトに供給。
一九九九年CLT出荷以来現在まで約一六、〇〇〇建築プロジェクト（全世界）に供給。

欧州十一ヶ国でドイツには二、〇〇〇プロジェクトで約八〇万平方メートル、オーストリア一、三〇〇プロジェクト五〇万平方メートルなど。
欧州以外では六ヶ国に供給、日本には三プロジェクト（福島、九州）に供給。

(2) CLTの特長

- ・建築期間が短縮できる。
- ・軽量。
- ・自然の素材として環境にやさしい。
- ・施主の要求に対応可能。
- ・製品の最大長、天井材で一六・五メートル、壁用で一〇メートル。

(3)

接着圧縮について
幅はぎされた板（幅一〇〜一五メートルに加工）と、別方向から送り込まれるラミナ一枚ずつ直交方向に重ねられ、交互に三〜五層に積層され圧縮工程へ。圧縮時間四〇分（室内温度常時約二〇度で一定に）

木材市況

素材の価格〈工場着価格〉(11月15日現在)

(単位：㎡当り千円)

区分	形量		材質	樹種	中通り地方		会津地方		浜通り地方		県平均		
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	
一般用材	小	5~9	4.00	並	スギ	9 (8~10)	0	(0~0)	0	9 (8~9)	0	9 (8~10)	0
		10~13				12 (11~12)	1	9 (9~9)	△2	10 (10~10)	0	11 (9~12)	0
	中	14~18	3.00	並	スギ	13 (12~14)	1	13 (13~13)	0	11 (10~12)	0	12 (10~14)	0
						6.00	並	ヒノキ	14 (12~16)	0	(0~0)	0	15 (15~16)
		20~28	3.65	並	スギ				17 (15~19)	0	8 (8~8)	0	15 (14~16)
						4.00	並	ヒノキ	25 (24~25)	0	(0~0)	0	22 (19~25)
	1.80	並	アカマツ	12 (11~12)	0				12 (11~13)	1	10 (9~11)	0	11 (9~13)
				10.00	30以上	並	米ツガ	(0~0)	0	(0~0)	0	31 (27~35)	0
	28以下	3.80	並					エゾマツ	(0~0)	0	(0~0)	0	28 (27~28)
				4.00	並	ベニマツ	(0~0)		0	(0~0)	0	34 (28~39)	0
8~14	並	カラマツ	(0~0)				0	(0~0)	0	27 (25~28)	0	27 (25~28)	0
			70~90	並	ラワン	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0
並	アガチス	(0~0)				0	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	
		パルプ用材	-	並	マツ	5 (5~5)	0	(0~0)	0	5 (5~5)	0	5 (5~5)	0
並	広葉樹					8 (8~8)	1	(0~0)	0	7 (7~7)	0	8 (7~8)	1

十月の原木市場への入荷状況は、前月比五八割増(前年比六割減)の二五、八五八立方メートルとなっている。販売量については、前月比五六割増(前年比九割減)の二五、九六八立方メートルとなっている。十一月の価格については保合となっている。

区分	形量		材質	樹種	会津共販		いわき	
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差
一般用材	12以下	4.00	並	カラマツ	(~)		7 (6~9)	0
	13~14				(~)		8 (7~8)	0
	16以上				11 (10~12)	△2	10 (9~11)	0

注) 1. 前月差の△印は値下り、*印は前月実績がなかったことを示す。
2. () 内は各地域の価格幅、() 外は各地域の平均価格を示す。
3. 一般用材カラマツは工場着価格ではなく、福島県森林組合連合会の会津共販所・いわき木材流通センターの素材市売価格を示す。
4. 各地域の価格について、異常値が生じた場合には県平均算出から除く場合がある。

また温泉神社(佐波古神社)もあり、単純に温泉地だから温泉神社なのかと思いついてみると、参道の脇に温泉水が流れ、境内には落ち着いた霧囲気があります。調べてみると既に一〇〇年前には全国神社名簿に記載された格式のある神社で、上代の昔に現在地の西に聳える霊峰湯の岳(別称佐波古峰)に鎮座されていたものを、白雉二五年(六七四年)にこの湯本三箇の地に遷座し最終的に明和五年(一七六八年)現在地に遷座したとこのことで意外な歴史(失礼)に驚きました。



いわき湯本温泉を歩いてみると

いわき農林事務所 松崎 洋

いわき市常磐湯本町にある湯本温泉の開湯の歴史は奈良時代とされ、古くはこの地を「佐波古」と呼んでおりました。伝承によると、傷を負った一羽の丹頂鶴がこの地の湯で傷を癒したのが始まりとされ、以来ここに「佐波古」の湯が開かれ、日本三古湯として、また江戸時代には陸前浜街道の宿場としても栄えたこととす。この佐波古に因んだ共同浴場も温泉街の一角にあります。

神社の近くに「鶴の足湯」があったので、散歩がてら訪れた近隣の人と一緒に足湯に入り、炭鉱の最後の日まで働いていたことや、炭鉱から出るお湯が川に流れ冬など寒い朝には蒸気が霧のように立ち昇り通行する車にも支障を来したなど当時の話しを聞くことができました。少しの時間の足湯でしたが、足だけではなく体中もぼかぼかと暖かくなりました。ここには手軽に地域の人と温泉に親しめる場所があります。皆様もちよつと寄ってみてはいかがでしょうか。



「鶴の足湯」(左があつ湯、右がぬる湯)

表紙の写真



「炭の窯出し」

第12回ふくしま森林・林業写真コンクールで入選を受賞した長谷川錦治さん(いわき市)の作品。撮影地(いわき市遠野下滝)

はなしのひろば

チロ

今年も暖冬だが、暖冬といえ変わらないのが「星座」。夜空には一等星とよばれる明るい星が二個あるが、二月の夜空には日本で見える一等星の約半数が頭上で輝き、冬の大三角や、冬のダイヤモンドと呼ばれる大きな六角形を形づくり賑やかな星空が楽しめるそうだ。

福島県には、白河市郊外に一九六九年に星仲間が力を合わせて建てた星の別荘「白河天体観測所」があったが、その所長は、真っ白な北海道犬「チロ」だった。チロは、観測所の上から草むらを見下ろし、けもの道をとおる動物たちに唸り声をあげたり、死ぬまで共にした藤井旭さん(天文写真家)と歩く山道で遭遇したクマを退散させる迫力もあり、観測所いちの勇氣あるものとしてチロは初代所長になった。あるお年寄りが奇妙な石を星仲間に見せ、頼んだ時に隕石じゃないかと皆が言ったが、チロだけは鼻をならし続け、念のため調べてもらうと貴重な隕鉄であることが判明した。

チロは人気ものだった。まつ毛が長く、器量よしでみんなの額を前足で起こすのも得意だったというが、一九八一年腫瘍がもとで、チロは満天の綺麗な星の夜、十二年の生涯を終えた。

その後チロへの多くの愛情で「チロ賞」という天文学賞が創設され、また、藤井さんによって近年オーストラリアに姉妹天文台の「チロ天文台」がつくられた。更に小惑星1995uw8には「チロ天文台」という名前も付けられた。

今現在、半世紀続いた白河天体観測所は、東日本大震災の影響で二〇一四年閉館をしたが、チロは星空で今もチロらしく輝いている。今の時分、おおいぬ座・こいぬ座がきれいに見える季節になる。(都)

編集

福島県内四森林管理署

福島県森林・林業・緑化協会

福島県森林組合連合会

福島県木材協同組合連合会

福島県農林種苗農業協同組合

ふくしま緑の森づくり公社

森林総合研究所福島水源林整備事務所

福島県森林・林業・緑化協会

(福島市中町五番一八号県林業会館内)

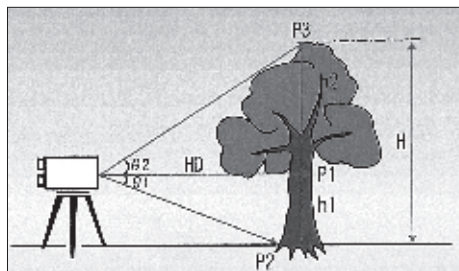
発行人

相馬 陽光社印刷株式会社

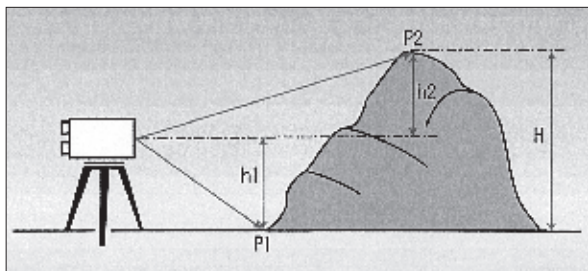
(定価 一〇八円)

高さ測定

1. 樹木の様に比較的まっすぐな場合

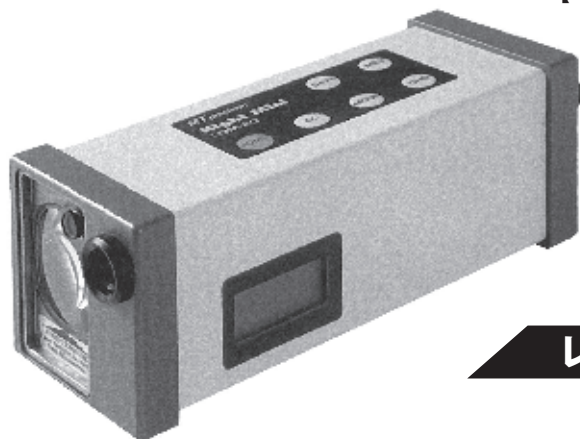


2. 堆積物等の山なり形状の場合



【LDM-20 仕様】

測距範囲	反射板 無30m 有300m
測距精度	±5mm
傾斜センサー分析能	0.1
測定	高さ・水平距離・斜距離
寸法	W64・H64・D180
重量	650g
付属品	ソフトケース・反射板・取説 RS232Cケーブル・EXCEL取込ソフト



LDM-20

レーザーハイトセンサー「ハイト mini」

株式会社 福島測機

福島市渡利山ノ下前37-2 TEL024-523-1706 FAX024-523-1704

備えのパートナー 森林保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



1 火災

山火事で受けた損害



2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



4 雪害

大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害



5 干害

乾燥による枯死などの損害



6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》

竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》

◆福島県森林組合連合会
TEL024-523-0255(代)

または最寄りの森林組合

イワフジのプロセッサ

GP-45V グラップルプロセッサ

IWAFUJI
INDUSTRIAL CO., LTD.

シンプルと耐久性を追求したプロセッサ

- 高耐久性を追求したフレームとトンク
- 全旋回を無くしたシンプル設計
- カッタ保持はシンプルなスプリング式
- 強力な油圧モータおよび保持力によるパワフルな送材力
- 大きなトンクによる効率的なグラップル作業
- 皮剥けを防止するガイドローラ付トンク
- 高速コンピュータGP-7による精度の高い安定した測尺
- 手元のノブスイッチで全ての操作が可能

Simple Processor
MODEL : GP- 45V

イワフジ工業株式会社

www.iwafuji.co.jp

北関東支店 〒963-8052 福島県郡山市八山田 5-314
TEL 024-973-5166 FAX 024-973-5168

林業機械の総合メーカー

- ・ハーベスタシリーズ
- ・フォワーダシリーズ
- ・グラップルシリーズ
- ・プロセッサシリーズ
- ・スイングヤーダシリーズ
- ・ラジキャリアシリーズ
- ・木寄せウインチシリーズ

イワフジが開催する「高性能林業機械のメンテナンス研修」受講生募集中!



自然との調和

(私達は、地球的視野に立ち、つねに進取の精神をもって、時代に挑戦します。)
皆様のご要望にお応えする、環境との調和を図る製品やタイムリーな情報を提供し、全国から厚い信頼をいただいております。

<p>野生獣類から大切な植栽木を守る</p> <p>ヤシマレント</p> <hr/> <p>ヤマビル対策に</p> <p>マリックスター(駆除剤)</p>	<p>蜂さされ防止</p> <p>ハチノックL(楽退治) ハチノックS(携帯用)</p> <hr/> <p>タケを駆除する</p> <p>クロレートS</p>	<p>大切な日本の松を守る 住化グリーン®の林業薬剤</p> <p>ヤシマスミバイン乳剤 ヤシマスミバインMC グリーンガードNEO パークサイドF ヤシマNCS モリエートマイクロカプセル マツグリーン液剤2 マッケンジー</p>	<p>くん蒸用生分解性シート</p> <p>与作シート(茶・白) (折りたたみ式 専用キャリーバック使用)</p>
---	---	---	--



住化グリーン株式会社

本社 〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町1番8号 TEL.03-6837-9422 FAX.03-6837-9423
東北営業所 〒981-3133 宮城県仙台市泉区泉中央3丁目10番3号 泉セントラルビル202号室 TEL.022-771-6681 FAX.022-771-6682

効率良く快適に! 手持ち作業から大型作業まで充実のラインナップ。

機器はゼノアから

<p>チッパシュレッダ</p>  <p>竹もOK! SR3000-2 出力 22.3kW (質量1,330kg) 水冷ディーゼル X379301020 ¥3,375,000(税抜)</p>	<p>プロソー</p>  <p>GZ3950EZ 排気量 39.1cm³ (質量4.4kg) 40cm(16") RSP 21BPX 967159403 ¥111,200(税抜) 95VPX 967159303 HS 25AP 967159104 91VXL 967159204</p>	 <p>GZ4350EZ 排気量 43.1cm³ (質量4.4kg) 45cm(18") RSP 21BPX 967160502 ¥137,700(税抜) 95VPX 967159902 HM 21BPX 967160504 95VPX 967159904</p>
---	---	---

ハスクバーナー・ゼノア(株)福島県代理店

(有)うねめ林業機械

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108の1